

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 19日

（報告先）
横浜市長

住所 横浜市中区桜木町1-1-8
日石横浜ビル
氏名 生活協同組合ユーコープ
代表理事理事長 當具 伸一

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	生活協同組合ユーコープ 代表理事理事長 當具 伸一				
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市中区桜木町1-1-8 日石横浜ビル				
主たる事業の業種	大分類	I 卸売・小売業			
	中分類	56 各種商品小売業			
該当する 事業者の要件	<input type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	7,365	kl	自動車の台数	109 台

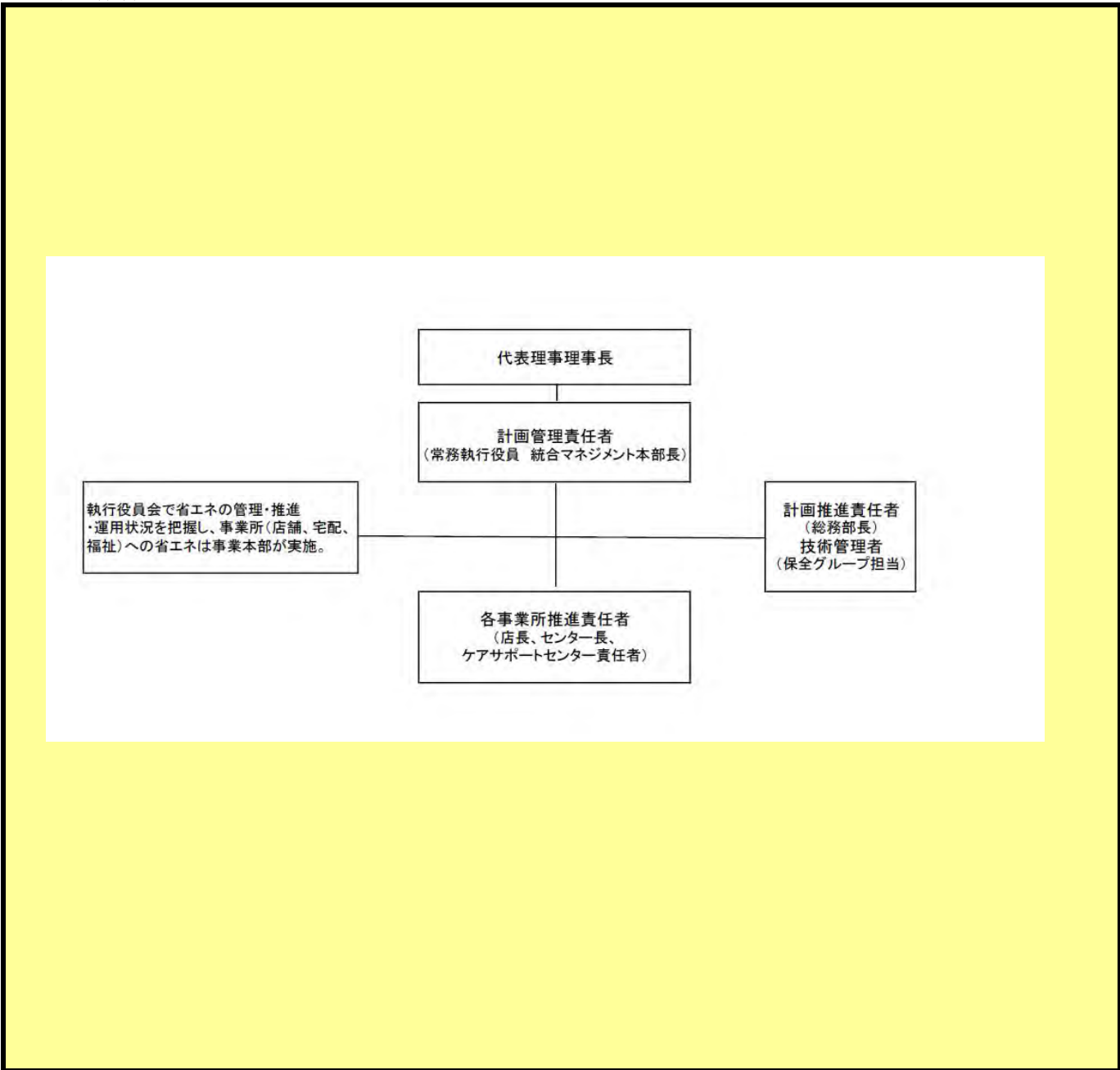
2 計画期間及び実施年度

計 画 期 間	2016	年度～	2018	年度	実 施 年 度	2018	年度
---------	------	-----	------	----	---------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>〔基本方針〕 事業全体のCO2排出量を2020年までに2005年比で30%削減する。 ≪店舗事業≫・省エネルギーのノウハウを全事業所に展開し標準化する。・冷凍、冷蔵、空調、照明の最適稼働を維持するため定期的に点検整備、清掃を行う。・老朽化した冷凍・冷蔵設備の更新を勧める。新規開設店舗は省エネルギー型とする。 ≪宅配事業≫・ナビゲーションシステムを活用して最適配送ルートで配送する。・より燃費効率が良いポスト新長期規制車両対応ディーゼル車の導入を進める。・R-22の空調、冷設を計画的にR-410A設備に切り替える ≪本部・福祉事業≫・規模を適正化するため本部移転を行う。・クールビズ、ウォームビズと合わせ空調機器の省エネルギー稼働を継続する。 ≪瀬谷工場≫・老朽化した設備の更新を進める。 〔主要なエネルギー使用設備の更新等の検討〕 ①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 省エネタイプの冷蔵・冷凍設備や空調、LED蛍光灯 ②上記①の設備を選択した理由 省エネ効果が大きく着実に効果を出しているため。 ③設備更新スケジュール 平成30年までに、毎年10事業所以上を目標に店舗、センターの省エネタイプの冷蔵・冷凍設備や空調、LED蛍光灯への交換を進めます。</p>

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	組合員参加推進部 政策企画課
	所在地	横浜市中区桜木町1-1-8 日石横浜ビル
	閲覧可能時間	9:00-17:30 閲覧希望の場合は事前にご連絡ください。(045-305-6115)
冊子	冊子名	横浜市地球温暖化対策計画書
	入手方法	組合委員参加推進部 政策企画課 (045-305-6115) までお問い合わせください。
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	15,221	t-CO ₂			基準原単位	247.91	t-CO ₂ / 千m ²
	調整後	14,967	t-CO ₂			目標原単位	240.47	t-CO ₂ / 千m ²
目標年度 (2018年度)	目標排出量	14,764	t-CO ₂	削減率	3.0 %	削減率	3.0 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>当生協は「2020年に向けた環境基本政策」を策定し、2020年までに2010年比でCO₂排出量を30%削減することを目標として掲げています。 今までも電力のモニタリングシステム等を導入し電力使用量削減に取り組んで着きました。 今後は、既存事業所の老朽化したエネルギー使用機器の計画的な更新に取り組むだけでなく、新規開設事業所に於いては全国の生協で採用している「エコストアモデル」を標準として開設する予定です。 根本的な対策として事業所の再配置を含め、事業構造を変革し排出量の大幅削減を図り計画達成を目指します。</p>							
事業者全体としての目標等	<p>横浜市内の事業者から排出されるCO₂は全事業者の排出量の約45%を占めている。 2019年までの温暖化対策第3期として、既存事業所へのLED照明の設置、老朽化したエネルギー使用機器の計画的更新、事業所再配置などを計画的に進め、CO₂排出量3500t（原油換算2000k l）削減を目標としています。</p>							
第一年度 (2016年度)	排出量	14,679	t-CO ₂	削減率	3.6 %	排出原単位	241.35	t-CO ₂ / 千m ²
	調整後	14,297	t-CO ₂	削減率	4.5 %		削減率	2.6 %
目標等の達成状況及び説明	<p>全店舗・センターを対象とした省エネルギーコンサルタントによる運用改善（ソフト面）を実施。日々の設備利用において各事業者の使用状況・特徴に応じた設定値への調整等に取り組みました。 また、一部の事業者においては省エネタイプの冷蔵・冷凍設備や空調設備・LED蛍光灯への交換などの省エネ化（ハード面）にも取り組みました。</p>							
第二年度 (2017年度)	排出量	14,394	t-CO ₂	削減率	5.4 %	排出原単位	236.67	t-CO ₂ / 千m ²
	調整後	13,553	t-CO ₂	削減率	9.4 %		削減率	4.5 %
目標等の達成状況及び説明	<p>全店舗・センターを対象とした省エネルギーコンサルタントによる運用改善（ソフト面）を継続して実施。また、デマンド監視装置の設置店舗を増加し、最大需要電力抑制・使用量抑制を目的とした警報装置発報時の対策運用を各店舗事に設置し実施を行った。 尚、一部の事業者においては機器更新時に省エネタイプの冷蔵・冷凍設備や空調設備を選定する事、LED照明への交換などのハード面での省エネ化にも取り組みました。</p>							
第三年度 (2018年度)	排出量	14,555	t-CO ₂	削減率	4.4 %	排出原単位	239.98	t-CO ₂ / 千m ²
	調整後	13,375	t-CO ₂	削減率	10.6 %		削減率	3.2 %
目標等の達成状況及び説明	<p>全店舗・センターを対象とした省エネルギーコンサルタントによる運用改善（ソフト面）を継続して実施。日々の設備利用において各事業者の使用状況・特徴に応じた設定値への調整等に継続して取り組みました。 また、一部の事業者においては、機器更新時に省エネタイプの冷蔵・冷凍設備や空調設備を選定するし、すでにLED照明を導入済の事業者でもまだ残る蛍光灯、ハロゲン照明を更にLED化することで、ハード面での省エネ化にも取り組みました。</p>							
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>ソフト、ハード両面の取り組みにより、目標排出量（基準排出量に対し▲3%）よりも排出量を抑制することができた。（基準排出量に対し最終年度は▲4.4%で着地） 原単位でも基準原単位対比▲3.2%の抑制のため、実質的な省エネが進められたといえる。 このような結果に繋がった対策は主に以下の二点。 ソフト面：省エネルギーコンサルタントによる設備の運用改善（最適調整など）。 ハード面：全事業者LED化、冷蔵・冷凍設備や空調設備の機器更新時には省エネルギータイプのものを選定。</p>							

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	377	t-CO ₂				基準原単位	0.45	t-CO ₂ /	千km
	調整後	377	t-CO ₂				目標原単位	0.43	t-CO ₂ /	千km
目標年度 (2018年度)	目標排出量	366	t-CO ₂	削減率	2.9 %	目標原単位	削減率	4.4 %		
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>宅配事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配送効率を高め最適配送ルートで配送する。 ・ より燃費効率が良いポスト新長期規制車両対応ディーゼル車の導入を進める。 <p>本部・福祉事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規模を適正化するため本部移転を行う。 ・ クールビズ、ウォームビズと合わせ空調機器の省エネルギー稼動を継続する。 									
事業者全体としての目標等	<p>配送効率を高め最適な配送ルートでの配送、やさしい発進（ふんわりアクセル）を心がけるよう啓発、車間距離にゆとりを持って加速・減速の少ない運転などを徹底します。</p>									
第一年度 (2016年度)	排出量	328	t-CO ₂	削減率	13.0 %	排出原単位	0.31	t-CO ₂ /	千km	
	調整後	328	t-CO ₂	削減率	13.0 %		削減率	31.1 %		
目標等の達成状況及び説明	<p>宅配事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配送効率を高め最適配送ルートで配送を行いました。 <p>本部・福祉事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の運転において、やさしい発進（ふんわりアクセル）を心がけるよう啓発しています。 ・ 高齢の利用者を乗せているため、車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転を徹底しています。 									
第二年度 (2017年度)	排出量	308	t-CO ₂	削減率	18.3 %	排出原単位	0.32	t-CO ₂ /	千km	
	調整後	308	t-CO ₂	削減率	18.3 %		削減率	28.9 %		
目標等の達成状況及び説明	<p>宅配事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配送効率を高め最適配送ルートで配送を行いました。 <p>本部・福祉事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の運転において、やさしい発進（ふんわりアクセル）を心がけるよう啓発しています。 ・ 高齢の利用者を乗せているため、車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転を徹底しています。 									
第三年度 (2018年度)	排出量	324	t-CO ₂	削減率	14.1 %	排出原単位	0.35	t-CO ₂ /	千km	
	調整後	324	t-CO ₂	削減率	14.1 %		削減率	22.2 %		
目標等の達成状況及び説明	<p>宅配事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配送効率を高め最適配送ルートで配送を行いました。 <p>本部・福祉事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の運転において、やさしい発進（ふんわりアクセル）を心がけるよう啓発しています。 ・ 高齢の利用者を乗せているため、車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転を徹底しています。 									
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>宅配事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組合員の利用に比例して、配送トラックの増車します。そのため、配送効率を高め最適配送ルートで配送を行いました。 <p>本部・福祉事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年に1度安全運転講習を実施し、日々の運転において、やさしい発進（ふんわりアクセル）を心がけるように啓発しています。 ・ 福祉事業では、高齢の利用者を乗せるため、車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転を徹底しています。 									

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k1以上	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500k1以上 3,000k1未満	0	0	0	0	0	0	0	0
500k1以上 1,500k1未満	1	2,552	1	2,437	1	2,355	1	2,325
500k1未満	59	12,669	59	12,242	59	12,039	58	12,230
合計	60	15,221	60	14,679	60	14,394	59	14,555

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車	64	271	64	182	97	224	63	140
小型貨物自動車	19	64	40	82	9	16	31	81
大型バス	1	8	1	2	1	3	0	0
マイクロバス	4	10	4	13	2	9	2	8
乗用自動車	11	24	16	51	13	56	13	58
合計	99	377	125	330	122	308	109	287
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)	20.0	%	17.6	%	28.1	%	39.0	%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度						
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	60/60	—	年度		実施済	60/60	—	年度		実施済	59/59	—	年度	
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	60/60	—	年度		実施済	60/60	—	年度		実施済	59/59	—	年度	
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	60/60	—	年度		実施済	60/60	—	年度		実施済	59/59	—	年度	
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施済	60/60	—	年度	照明設備の管理台帳を整備	実施済	60/60	—	年度		実施済	59/59	—	年度	
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	現地調査で非該当を確認済み	非該当	/	—	年度	現地調査で非該当を確認済み	非該当	/	—	年度	現地調査で非該当を確認済み
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度	
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	11/60	—	2018年度	片倉店LED化	実施済	60/60	—	年度		実施済	59/59	—	年度	
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	60/60	—	年度		実施済	60/60	—	年度		実施済	59/59	—	年度	
	15	機器性能管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類) 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類) 2/2	—	年度	
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類) 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類) 2/2	—	年度	
	18	排出ガス温度の管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類) 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類) 2/2	—	年度	
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 蒸気配管のバルブ 9/9	—	年度		実施済	(設備の種類) 蒸気配管のバルブ 9/9	—	年度		実施済	(設備の種類) 蒸気配管のバルブ 9/9	—	年度	
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施済	実施済	(設備の種類) コンプレッサ 1/1	—	年度		実施済	(設備の種類) コンプレッサ 1/1	—	年度		実施済	(設備の種類) コンプレッサ 1/1	—	年度	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) コンプレッサ 1/1	—	年度		実施済	(設備の種類) コンプレッサ 1/1	—	年度		実施済	(設備の種類) コンプレッサ 1/1	—	年度	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度						
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	11/11	—	年度		実施済	10/10	—	年度		実施済	10/10	—	年度	
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施済	—	125/125	年度	運行・点検記録表への記録・走行ルートの事前把握	実施済	—	122/122	年度		実施済	—	121/121	年度	
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施済	—	125/125	年度	走行距離、エネルギー使用量を管理	実施済	—	122/122	年度		実施済	—	121/121	年度	
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施済	11/11	—	年度	エコドライブ講習の実施	実施済	10/10	—	年度		実施済	10/10	—	年度	
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施済	11/11	—	年度	エコドライブ講習の実施	実施済	10/10	—	年度		実施済	10/10	—	年度	

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		1.05 %		14,555		282.0		129.3		153					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	店内照明のLED化	ユーコー ブ白根店	2017	屋内照明：天井照明86W2灯及び1灯、天井照明32W2灯及び1灯、各種ダウンライト・スポットライト等 屋外照明：外部・外装照明、駐車場・車路照明等 蛍光灯器具及びハロゲン照明器具全321基	昼間買電	156,634	k Wh	80.2	LED照明器具全321基	昼間買電	65,285	k Wh	33.4	46.8	4,350 千円
2	店内照明のLED化	ユーコー ブ末吉店	2017	屋内照明：天井照明86W2灯及び1灯、天井照明32W2灯及び1灯、スクエアベースライト4灯、各種ダウンライト・スポットライト等 屋外照明：外部・外装照明、駐車場・車路照明等 蛍光灯器具及びハロゲン照明器具全321基	昼間買電	137,513	k Wh	70.4	LED照明器具全503基	昼間買電	74,563	k Wh	38.2	32.2	6,300 千円
3	店内照明のLED化	ユーコー ブ下永谷店	2017	屋内照明：天井照明40W2灯及び1灯、 屋外照明：外部・外装照明、ダウンライト、投光器等 蛍光灯器具及びハロゲン照明器具全76基	昼間買電	16,320	k Wh	8.4	LED照明器具全76基	昼間買電	4,503	k Wh	2.3	6.1	710 千円
4	店内照明のLED化	ユーコー ブ片倉店	2016	屋内照明：天井照明86W2灯、天井照明40W2灯及び1灯、各種ダウンライト・スポットライト等 屋外照明：外部・外装照明、駐車場・車路照明等 蛍光灯器具及びハロゲン照明器具全707基	昼間買電	224,730	k Wh	115.1	LED照明器具全661基	昼間買電	102,776	k Wh	52.6	62.4	4,300 千円
5	店舗照明のLED化	ユーコー ブ白幡店	2018	蛍光灯器具及びハロゲン照明器具全93基	昼間買電	15,490	k Wh	7.9	LED照明器具全90基	昼間買電	5,361	k Wh	2.7	5.2	1,112 千円

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	省エネ照明器具	2017年度	86W2灯79台(64,475kWh→24,291kWh 62%削減)	導入後の電力使用量144千kWh
2	省エネ照明器具	2018年度	蛍光灯器具及びハロゲン照明器具是全 93基	導入前15,490kWh →導入後5,361kWh
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	1,180 t-CO2	東京電力エナジーパートナー(株)・中部電力
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	当生協の組合員に対して環境月間でグリーンカーテンの設置などの省エネルギーの啓発を行う。 組合員向けの機関紙で環境特集を企画し、暮らしの環境配慮を啓発する。
計画期間内に実施する対策	引き続き毎年6月には環境月間に供給促進事業、組合員への啓発活動に取り組みます。 [継続対策] 環境配慮商品の利用普及、組合員向け機関紙を用いた啓発活動、CSR報告書発行、レジ袋持参運動、自然観察会開催、容器包装物の回収、グリーンカーテン普及活動。
第一年度実績	6月の環境月間にステークホルダーに対し環境配慮商品の利用普及、環境に配慮したくらしの啓発、CSR報告書の発行、レジ袋持参、容器包装の回収などに取り組みました。
第二年度実績	6月の環境月間にステークホルダーに対し環境配慮商品の利用普及、環境に配慮したくらしの啓発、CSR報告書の発行、レジ袋持参、容器包装の回収などに取り組みました。
第三年度実績	6月の環境月間にステークホルダーに対し環境配慮商品の利用普及、環境に配慮したくらしの啓発、CSR報告書の発行、レジ袋持参、容器包装の回収などに取り組みました。

14 実施状況等に対する自己評価

店舗の冷凍・冷蔵機器の省エネチューニングや省エネ照明機器の導入を行うことにより、省エネに取り組むことができました。電気使用量が見える化することで、働いている職員・パート職員の省エネに対する意識の向上が期待できました。
--